



2021年3月期 第2四半期 決算説明

2020年11月12日
堀田丸正株式会社
(東京証券取引所第2部 証券コード8105)

新型コロナウイルス感染症の影響と当社方針

1. 市場環境

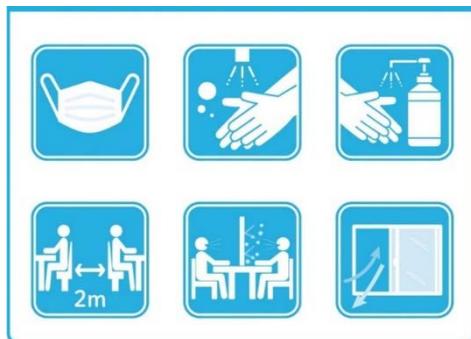
- ・ 緊急事態宣言の発令及び新型コロナウイルスの感染の再拡大などによる、外出自粛や休業要請により経済活動が大きく停滞
- ・ また記録的な猛暑や梅雨明けの遅れによる消費者の外出の自粛の影響で、主要取引先である百貨店が厳しい状況が続いた
- ・ 世界各国で非常事態宣言が発令されたことにより、グローバル経済活動が大きく停滞。特に中国内販及び欧州向けの事業に影響

2. 消費者の価値観

- ・ 外出自粛により消費者からのニーズが店舗から巣ごもり需要に移行し、EC化が一気に進んだ
- ・ 外出自粛中には、これまでECサイトを利用したことがなかった人も、ECサイトでの買い物を体験する機会が生まれた。この新規層が、ECサイトユーザーとしてそのまま定着し店舗への来店が激減

3. サプライチェーン

- ・ サプライチェーンの寸断や需要の減少により、日本では生産活動の停滞、税関や検疫に時間を要することになり、輸送時間やコストが上昇
- ・ 物流の遅延や寸断は広範に及び、多くの企業に影響した。そして、移動制限は生産活動や物流に大きく影響した



1. お客様・従業員・関係者の生命と安全を最優先とした危機対応

- ・社会的要請に応え「感染しない・させない」為の責任ある従業員行動を徹底
- ・マスク、手洗い、消毒、ソーシャルディスタンス等の感染拡大防止対策を実施

2. 事業環境悪化を踏まえた、事業損失の最小化

- ・受注減少を見据えた最適な仕入れ管理により在庫増を抑制
- ・売上の実勢に合わせて適量の発注/生産を行い、急激な需要の落ち込みに柔軟に対応できるよう努める
- ・経営環境激変を踏まえた、費用・投資計画の見直し

3. 新型コロナウイルス感染拡大の長期化リスクを踏まえた資金政策

- ・当社の強みである堅固な財務体質を更に強化し、十分な流動性確保
＜20年9月期末＞
現金及び現金同等物 21億20百万円
自己資本比率 84.4%

決算概要

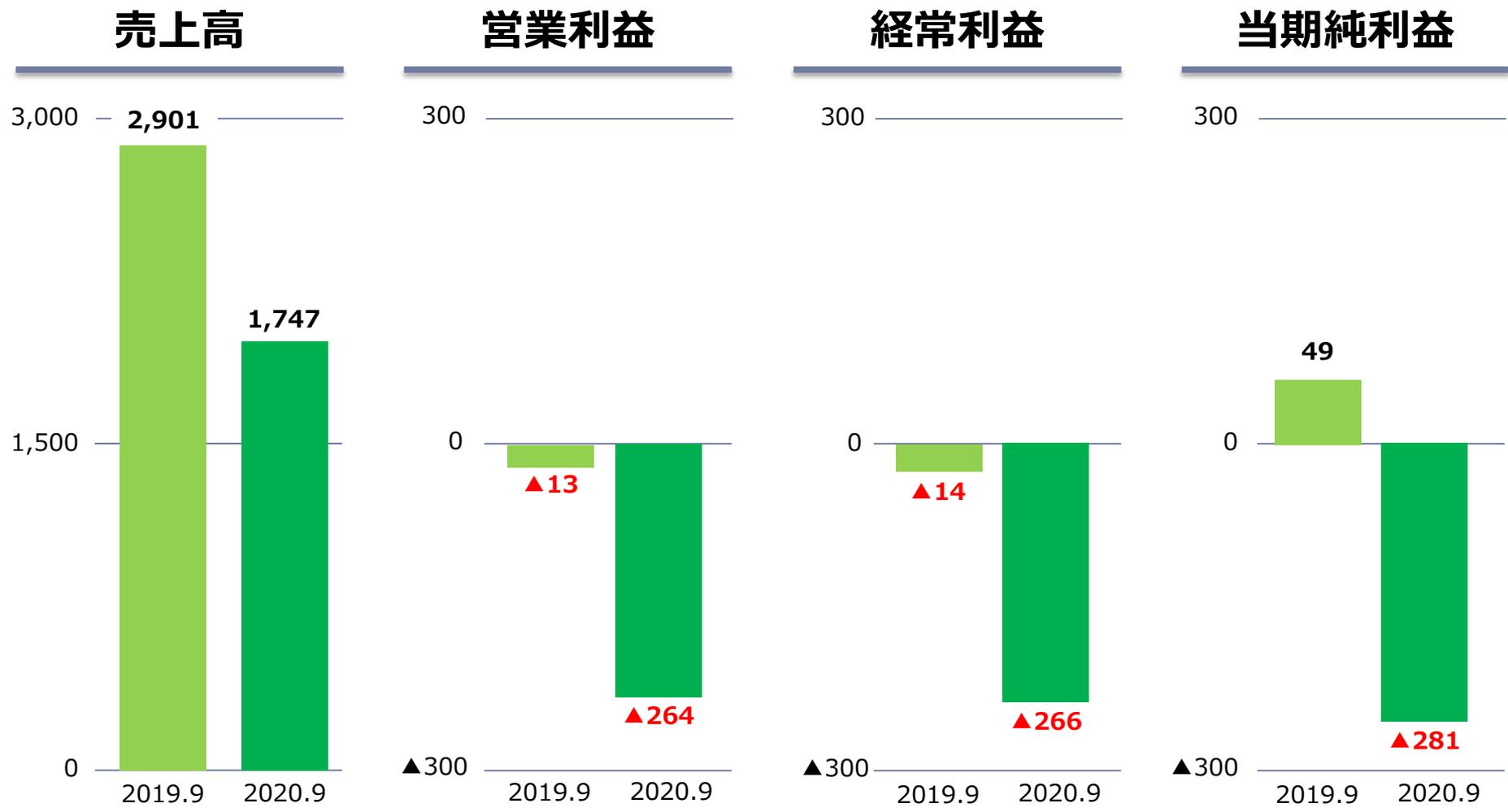
① 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、売上が大幅減少し、営業赤字

- ・ 連結売上高は、17億47百万円（前年同期比：60.2%）
- ・ 営業損失は、2億64百万円（前年同期：▲13百万円）
- ・ 巣ごもり需要の影響もあり、寝装事業は営業黒字を実現
- ・ その他の3事業は営業赤字で、特に和装事業が苦戦
- ・ 1Qに主要取引先である百貨店や専門店の営業時間短縮・臨時休業や催事販売会の中止などが大きく影響
- ・ 海外事業においても中国における新型コロナウイルスの感染拡大により中国経済の成長鈍化及び米中貿易摩擦などの影響を受け、中国内販向けが受注減

② 財務状況は、新型コロナウイルス影響も健全な状態を維持。**<20年9月期末ベース>****現金及び現金同等物 21億20百万****<無借金経営を継続>****流動比率 647.9%****自己資本比率 84.4%****固定比率 6.5%****手元流動性比率 約4.2か月（前期コロナ影響前月商で）**

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり大幅な減収減益となった
- ・ 巣ごもり需要により寝装事業は営業利益の確保はできたが、その他の事業は苦戦

(単位：百万円)



セグメント別実績（第2Q累計）

(百万円：%)

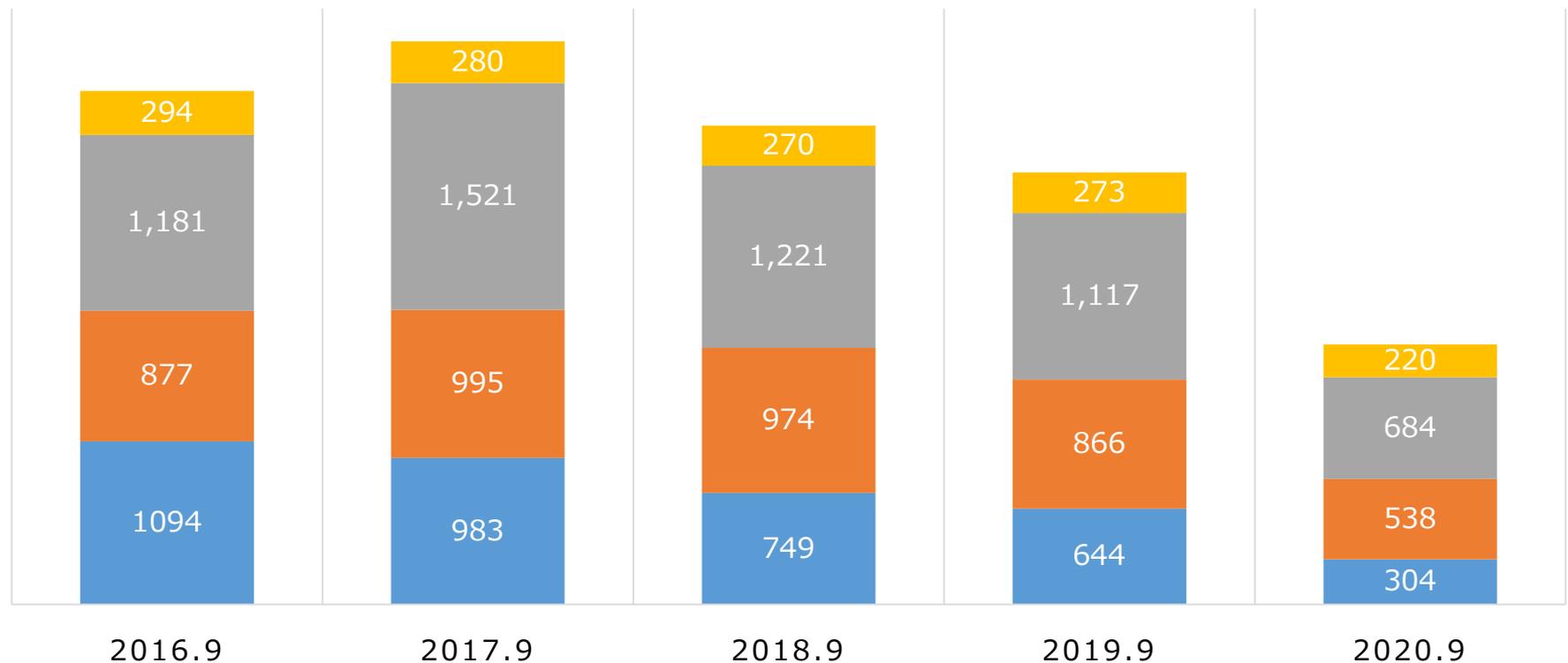
	売上高				セグメント利益		
	2020/3期 第2Q累計	2021/3期 第2Q累計	増減額	前年 同期比	2020/3期 第2Q累計	2021/3期 第2Q累計	増減額
連結	2,901	1,747	▲1,154	60.2	▲13	▲264	▲250
和装事業	644	304	▲339	47.3	9	▲85	▲94
意匠撚糸 事業	866	538	▲328	62.1	44	▲13	▲58
洋装事業	1,117	684	▲432	61.3	30	▲83	▲114
寝装事業	273	220	▲53	80.5	16	8	▲7
本社・調整	—	—	—	—	▲114	▲90	23

※連結売上高、経常利益、当期利益は連結相殺を含んでおります。

新型コロナウイルスの影響を受け、全ての事業において大幅な受注の減少となった。特に百貨店との取引や催事を主要とした事業である和装事業の落ち込みが厳しい状況。一方で巣ごもり需要の効果もあり、寝装事業における落ち込みは抑制

(単位：百万円)

■ 和装 ■ 意匠撚糸 ■ 洋装 ■ 寝装



新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、主要取引先である百貨店や専門店の営業時間短縮・臨時休業や催事販売会やの中止などの影響を受け大幅な売上減少。また消費税増税後の消費低迷などにより多大な影響を受けることとなった。連結子会社（株）吉利においてもお祭りや花火大会などのイベントの中止により、季節商品の売上が大幅に減少した

(単位：百万円)



(200)

国内においては新型コロナウイルスの影響を受け、大幅な受注の減少となった。海外事業においては中国における新型コロナウイルスの感染拡大により中国経済の成長鈍化及び米中貿易摩擦などの影響を受け、中国内販向けが受注減となった。OEM事業においてはリモートでの展示会開催することで商談回数の増加ができたが、主要国内アパレル各社からの大幅な受注減により、売上減少となった

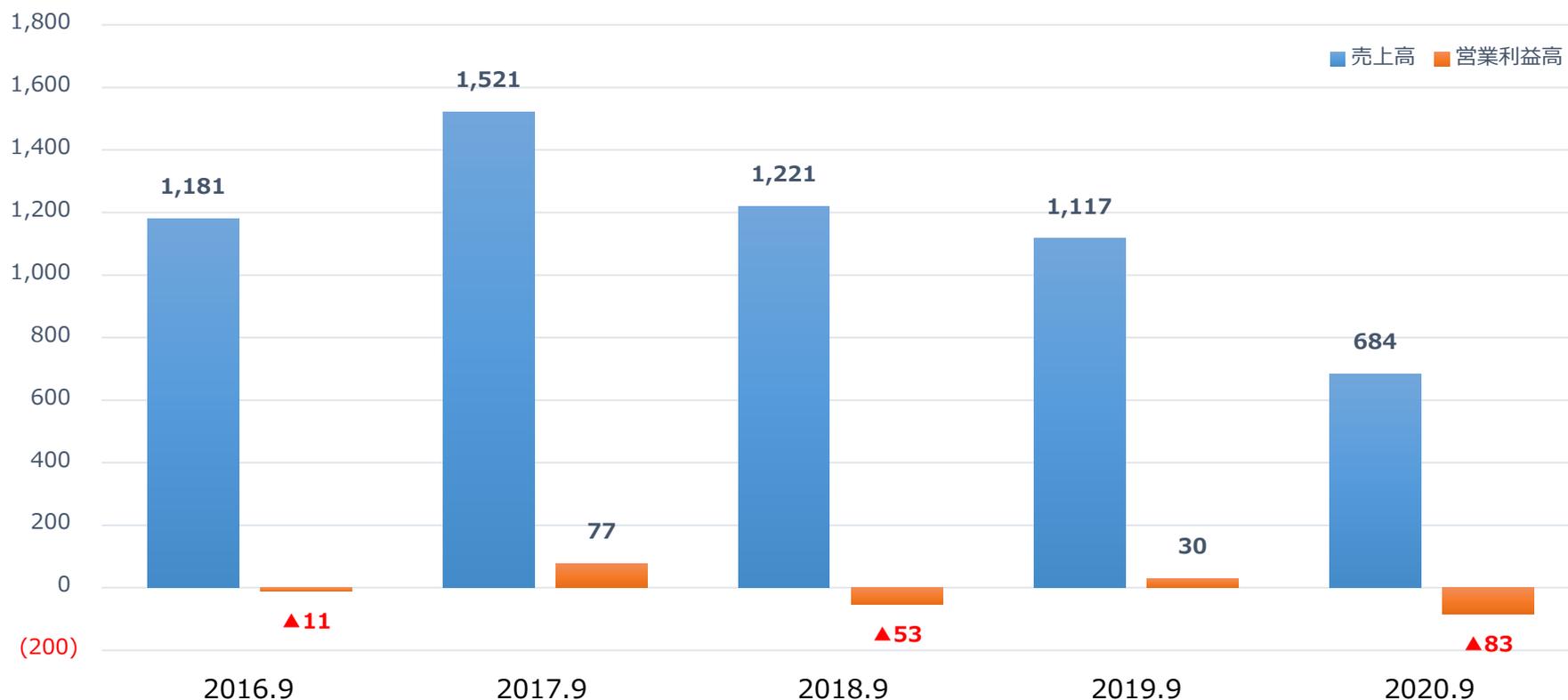
(単位：百万円)



(200)

新型コロナウイルスの感染拡大により百貨店催事が縮小や中止となり売上減少となった。営業範囲の減少 販売、仕入れ活動停止も発生。また、九州を拠点とする丸福事業は、婦人洋品事業は暖冬による衣料品等の消費低迷に加え、百貨店・専門店卸が悪化、また九州地区における台風の上陸や集中豪雨などによる臨時休業や時短営業などにより売上の減少が発生。馬里邑事業も同様に、百貨店の店舗閉鎖や消費税増税後の消費低迷で売上は減少した

(単位：百万円)



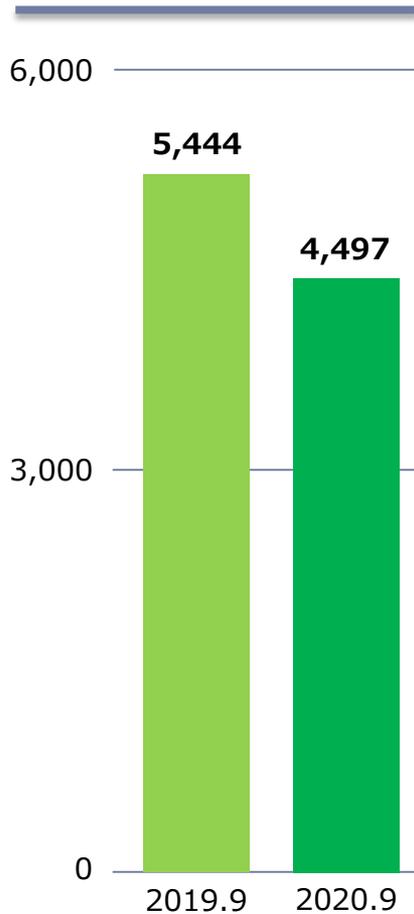
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、量販店・専門店取引において営業時間短縮・臨時休業などによるマットレスや寝装品の売上が減少や顧客の購買チャンネルが店頭からネット通販へ移行したことによる、取引先の仕入れ減少。また、前期まで牽引した東北地区におけるギフト事業も葬儀の簡素化による受注減により売上減少



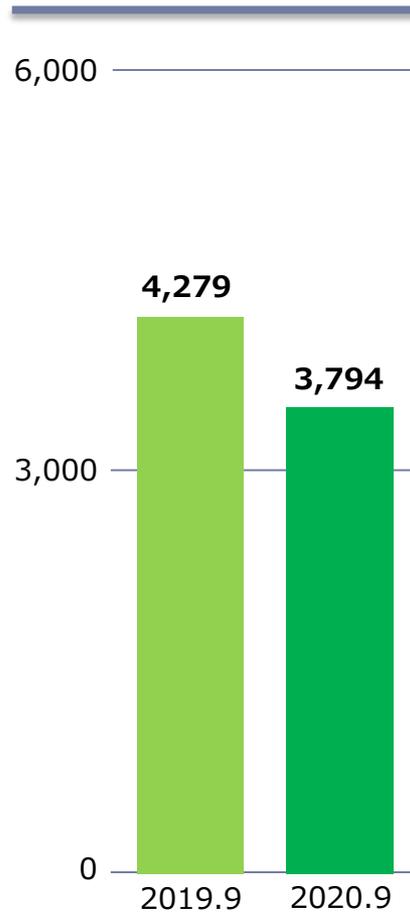
(単位：百万円)

- ・ 総資産に関しては在庫の抑制を進めたこともあり、減少した
- ・ 自己資本比率は78.6%から84.4%と継続して強固な財務基盤を維持
- ・ 継続して、無借金での経営を実現できている

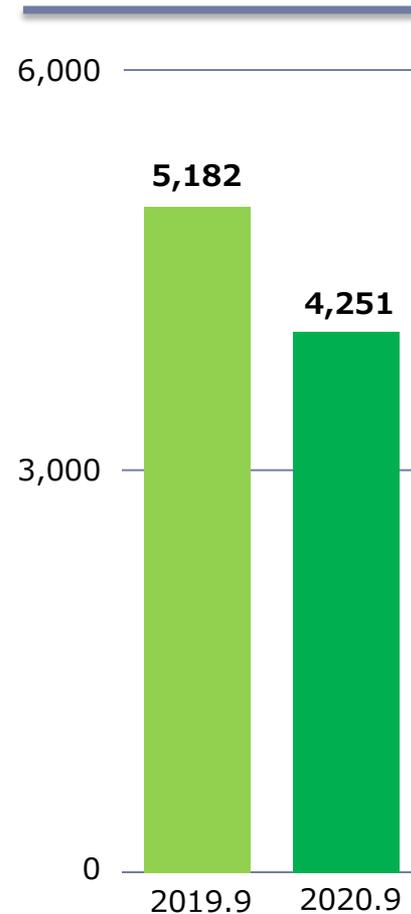
総資産



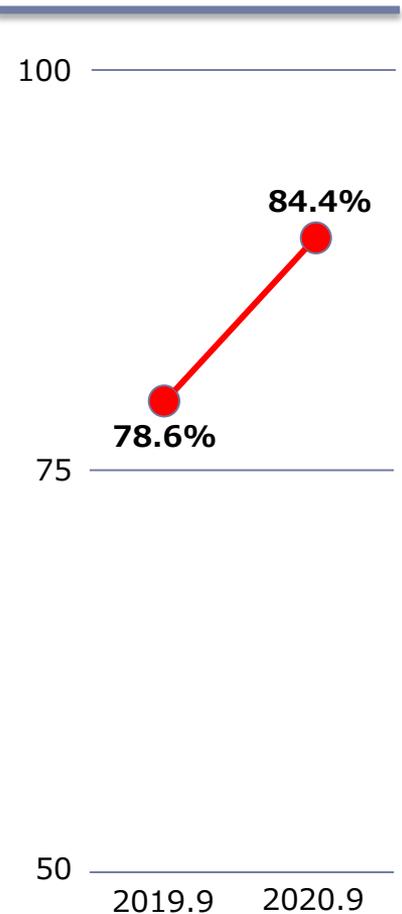
純資産



流動資産



自己資本比率



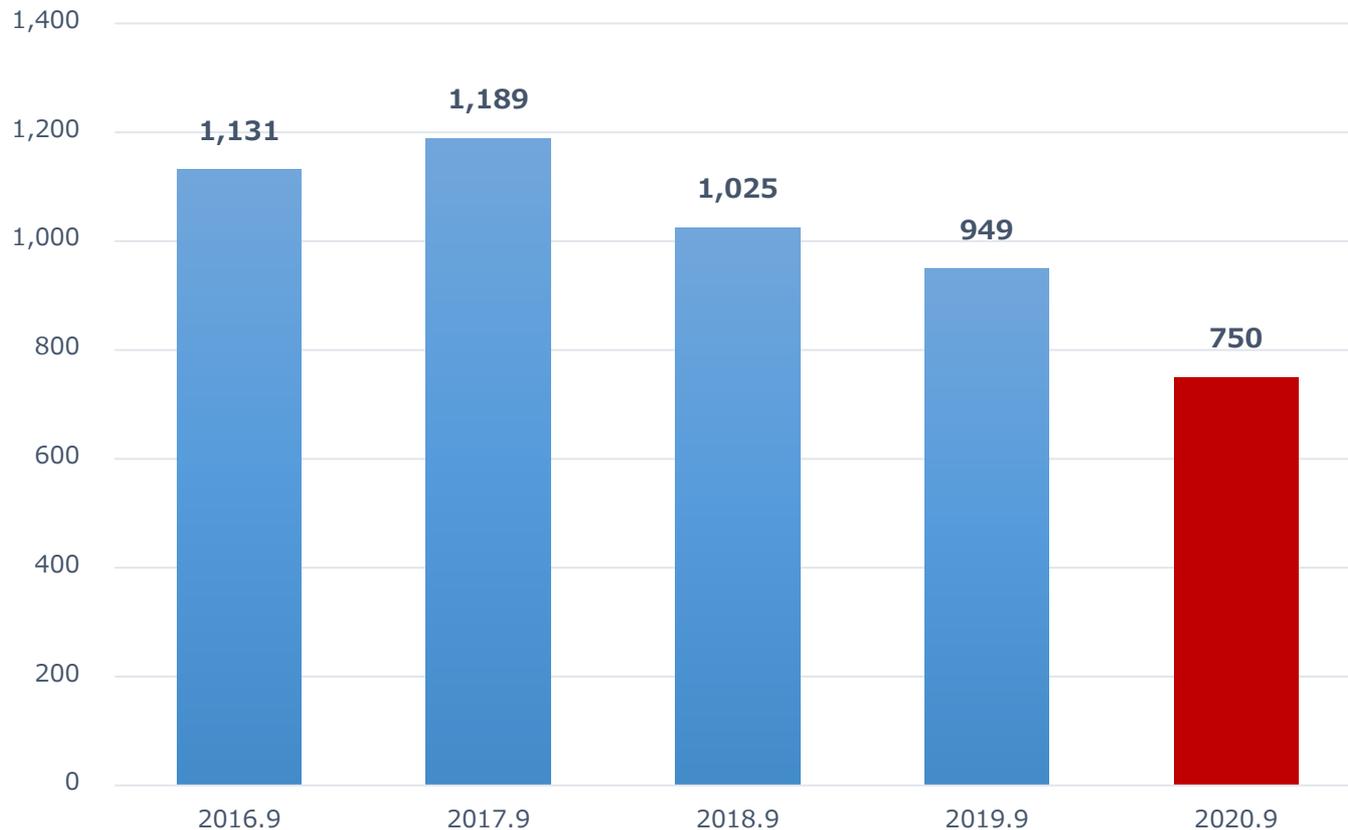
(単位：百万円)

	2019年9月期末	2020年9月期末	前年増減額
流動資産	5,182	4,251	-930
固定資産	262	246	-16
繰延資産	0	0	0
資産合計	5,444	4,497	-947
流動負債	1,117	656	-460
固定負債	48	46	-1
純資産	4,279	3,794	-484
負債純資産合計	5,444	4,497	-947

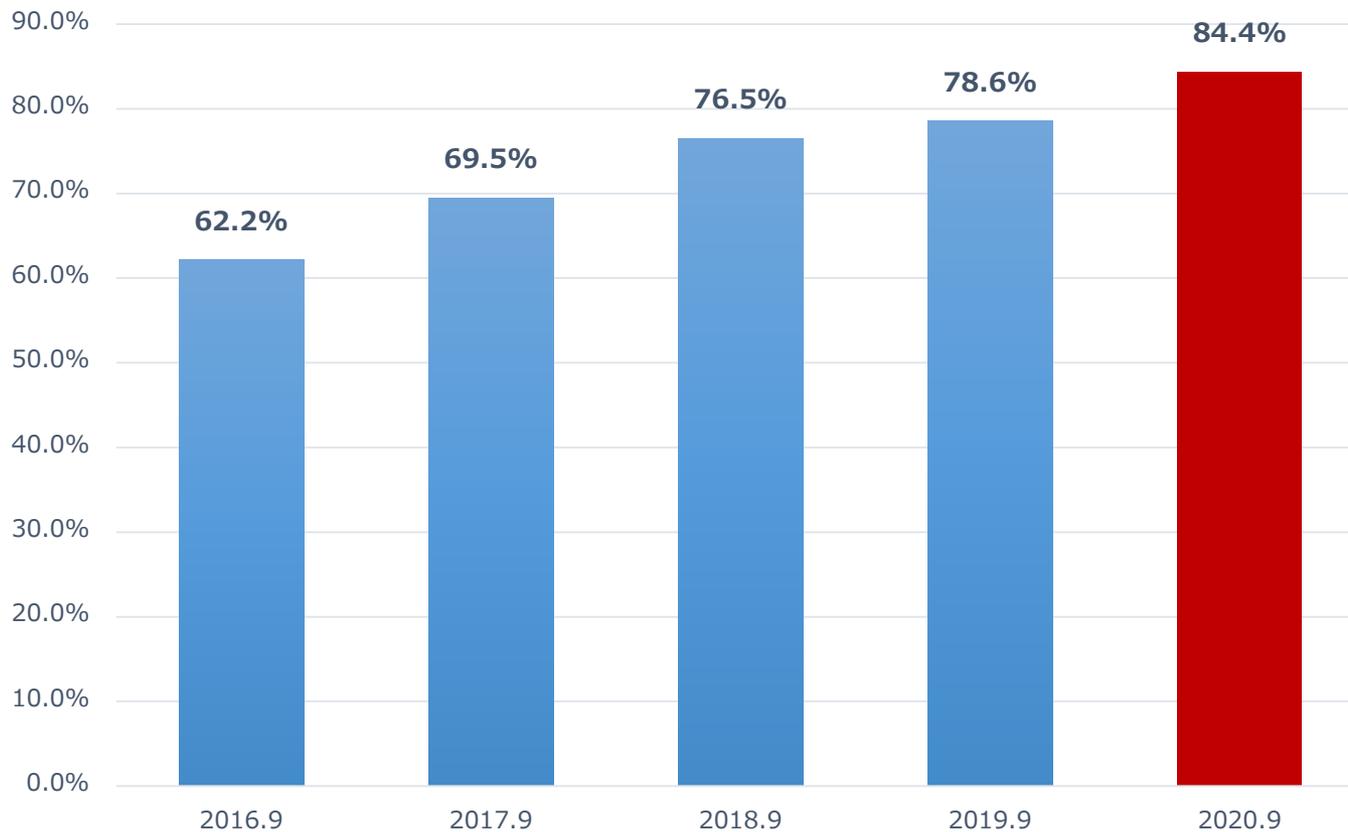
(単位：百万円)

継続的に各種販管費の削減に取り組み

販管費を抑制



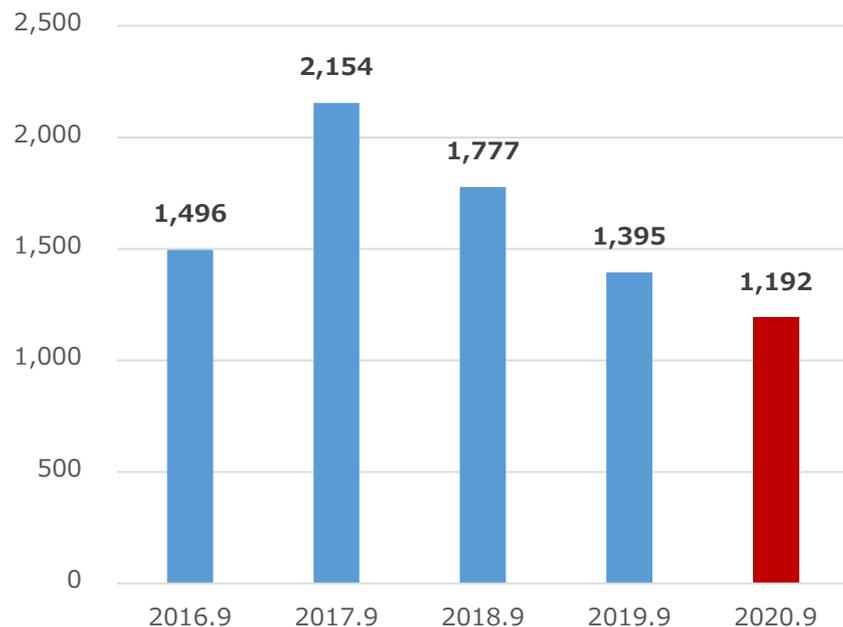
自己資本比率は84.4%と、健全な水準を維持



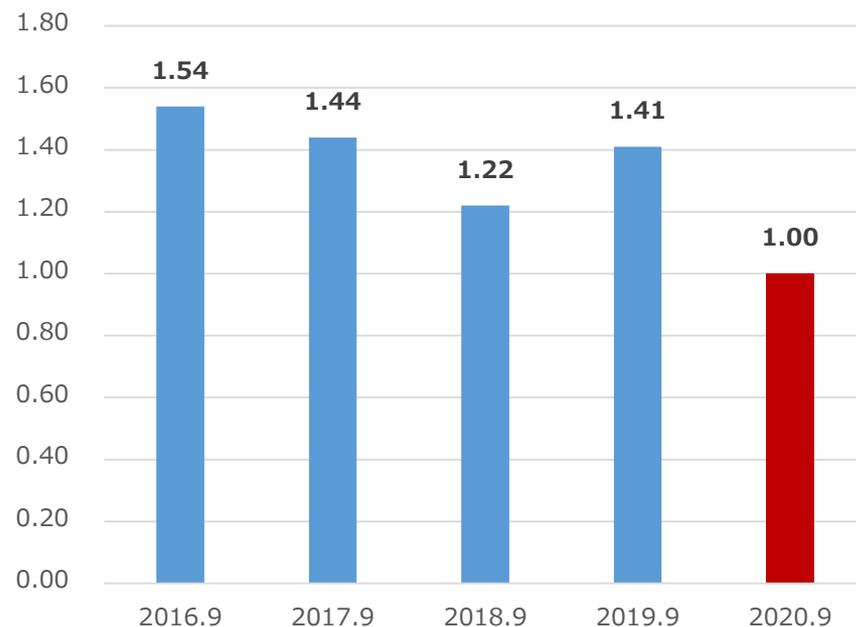
仕入の精度向上及び基準の明確化と 計画的な在庫消化・コントロールにより 在庫の削減を実現

(単位：百万円)

在庫原価



在庫回転数



売上原価 ÷ 期初期末平均在庫原価

今後の経営方針

当社グループは、2020年6月25日の株主総会での決議により、難局をのりきり、継続的な成長を実現するために新たな経営体制となり事業部の統廃合を実施し、4事業部制とし、人的資源の交流等その結びつきを深めて相乗効果を発揮し、そしてそれぞれの数値目標及び経営責任を明確にすることで成長戦略を推進してまいりました

また、2020年9月25日に開示致しました『当社グループの構造改革の実施及び特別損失計上見込みに関するお知らせ』において、当社の成長に向けて「成長への土台を構築する」を方針として、（１）成長分野への経営資源の集中、（２）新たな収益源の創出、（３）不採算事業の撤退などの構造改革の為の施策を実行致します

（１）成長分野への経営資源の集中

（２）新たな収益源の創出

（３）不採算事業の撤退

(1) 成長分野への経営資源の集中

当社グループの競争力強化と持続的成長のため、当社グループの収益を牽引してきたコア事業である意匠燃糸事業および高収益部門への経営資源の集中を加速させてまいります。具体的には、新規の糸・素材の企画開発およびグローバル展開による販売機会の拡大加速、堀田（上海）貿易有限公司を拠点とし、中国を中心としたアジアなど海外での販売拡大を行ってまいります。また、東北地区を中心に展開してきたギフト事業の拡大、当社が培ってきたB to B営業の強みを活かした新規取引先の拡大により、高い収益性を確保できる経営基盤の強化を図ってまいります

(2) 新たな収益源の創出

当社グループの収益機会の最大化のため、当社の商品力を活かした新規事業への取組みを強化し、新たな収益源の創出を進めてまいります。具体的には、EC事業の立上げによるB to Cビジネスの構築・強化、意匠燃糸の特性を応用したインテリア雑貨および和装事業における着物や帯などの生地を活用した生活雑貨などの新商品の開発、和装小物ブランドの強化などにより、新たな販売機会の獲得を推進してまいります。またRIZAPグループ各社との取引拡大によるグループ横断的なシナジーも実現して参ります。同時にコストの削減及び人員の適正化を進め収益の拡大を目指します

(3) 不採算事業の撤退

当社グループの収益基盤の改善のため、短期的な収益改善が難しい馬里邑ブランドを扱う馬里邑事業の撤退を今期中に完了させ、当社の経営資源を前述の成長事業に集中させ、来期以降の早期黒字化を目指してまいります

本構造改革に伴い実施する事業撤退に伴う特別損失約300百万円を2021年3月期中に計上する予定です。なお、この特別損失の金額は、今後の製品在庫の販売状況によって増減する可能性がありますので、計上金額が確定次第、改めてお知らせいたします

通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響やその他の要因も含めて精査中であり、通期見通しを早期に公表できるように努めてまいります

免 責 事 項

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください